

# 五色沼湖沼群

## 噴火によってつくり出された神秘的な湖沼群

National  
Parks  
of Japan



五色沼湖沼群は、1888年(明治21年)の磐梯山噴火によって生まれた湖沼群のひとつで、裏磐梯を代表する景勝地です。噴火によって川がせき止められ、大小さまざまな沼が生まれ、その中でも水の色が変化して見える沼を「五色沼」と呼びます。この色の変化は、火山活動によってもたらされた鉱物成分や火山灰が水中に溶け込み、藻類の種類や水深、光の反射と相まって生まれるものです。

昔の五色沼の道は現在ほど整備されておらず、訪れる人は限られていました。地元の人々や研究者、登山者がその神秘的な色合いに驚き、自然の不思議を感じたといいます。

現在の五色沼は、磐梯朝日国立公園を代表する観光地として、多くの人々に親しまれています。整備された遊歩道を歩けば、青、緑、赤茶など、光や季節によって変わる沼の色を楽しむことができます。昔から変わらぬ神秘の景観に加え、今では四季折々の自然とともに、訪れる人々を魅了し続けています。

出典：会津若松市デジタルアーカイブ [画像(上)] 撮影年代＝1920～1930年代ころ

